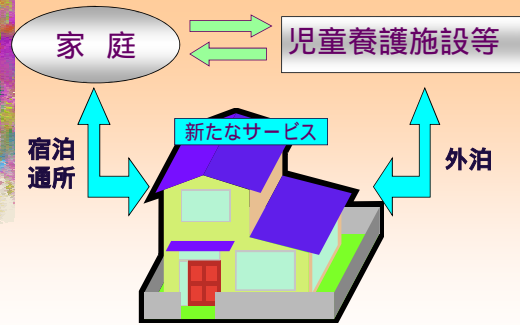


親(母)と子の宿泊型生活サポート事業

事業からみえる再統合支援の手掛かり

宮城県大崎地域子どもセンター



育児行動変容
(関係改善)

母への
支援

事業の特徴

- 1 宿泊型サービス
- 2 生活に密着した育児支援
- 3 具体的支援プラン







宿泊スケジュール

7:30	朝食・片づけ等
9:00	掃除・洗濯等
10:00	プログラム
12:00	昼食・片づけ等
13:45	プログラム
15:30	献立作成・食材買い物等
18:00	夕食・片づけ等
19:30	子どもの世話・団らん
20:00	子どもの就寝
22:30	就寝・消灯

プログラムの内容

ペアレント・トレーニング
(行動療法を取り入れた躰の方法、親の育児 態度の変容を促す)

親子で楽しくあそぼう
(遊びを通じて親子が楽しい時間を共有し、親子間の良いコミュニケーションを促す、遊びのバリエーションを増やす)

なるほど子育て
(子どもの成長発達を心身両面からとらえ、知識として理解する)

子どもに作るう
(子どもが喜びそうなバックやおやつ作り等、子育て関連の家事練習)

楽しみ見つけよう
(母自身のストレス解消・気持ちをコントロールするための生きがい・趣味等)

支援の方向性

- 虐待の再発予防
- 保護者が抱える問題への支援
- 子どもへの支援
- 虐待再発の早期発見・対応(危機介入計画)

参照:「子ども・家族への支援・治療をするために
～虐待を受けた子どもとその家族に向きあうあなたへ～」

「ペアレント・トレーニング」の目的

虐待の再発予防

(1) 保護者への支援

- 保護者と支援者の関係構築
- 子ども観・育児感の変容
- 育児意欲の回復
- 育児一般に関する行動の変容
- 子どもの問題状況への対処行動の形成
- 子どもに対するネガティブな感情・行動の処理スキルの獲得
- 子ども虐待に関する啓発

保護者が抱える問題への支援

(1) 家族間での困難状況への支援

- パートナー間の困難状況への共感・助言
- 他の家族員との間の困難状況への共感・助言

★ 虐待再発の早期発見・対応は全ての場面で適用

「親子で楽しくあそぼう」の目的

虐待の再発予防

(1) 保護者への支援

- 子ども観・育児感の変容
- 育児意欲の回復
- 子どもの問題状況への対処行動の形成
- 子どもに対するネガティブな感情・行動の処理スキルの獲得
- 子ども虐待に関する啓発

子どもへの支援

(1) 安全感的回復と維持

- 非難・注意・叱責されない対人関係の保障

(2) 自尊心の回復と維持

- 保育における配慮による達成感の経験
- 受容される体験の保障

(3) 自信の回復と維持

- 保育における配慮による達成感の経験

「なるほど子育て」の目的

虐待の再発予防

(1) 保護者への支援

- 保護者と支援者の関係構築
- 子ども観・育児感の変容
- 育児意欲の回復
- 育児一般に関する行動の変容
- 子どもの問題状況への対処行動の形成
- 子どもに対するネガティブな感情・行動の処理スキルの獲得
- 子ども虐待に関する啓発

保護者が抱える問題への支援

(1) 家族間での困難状況への支援

(2) 保護者自身の身体的・精神的問題への支援

(3) 保護者自身の愛着障害への支援

「子どもにつくろう」の目的

虐待の再発予防

(1) 保護者への支援

- 育児意欲の回復
- 育児一般に関する行動の変容
- 子どもに対するネガティブな感情・行動の処理スキルの獲得
- 子どもの問題状況への対処行動の形成

レスパイト

・子どもと離れて母が充電する時間

< プログラム以外の生活場面 >

子どもと一緒にの場面

- ・食事
- ・排泄介助
- ・入浴、洗面、歯磨き
- ・お昼寝・睡眠
- ・遊び
- ・買い物
- ・来所・帰宅・場面転換

支援の目的

虐待の再発予防

保護者への支援

子どもへの支援

- 安全感的回復と維持
- 自尊心の回復と維持
- 自信の回復と維持
- 発達の問題への支援

実践力の向上(日常化)

- * 知識を行動へ移す練習
- * スタッフのモデリング

親だけの場面

- ・スタッフとの談話

虐待の再発予防

保護者への支援

保護者が抱える問題への支援

目的別対象

1 再統合支援

分離して家庭復帰予定がある親子

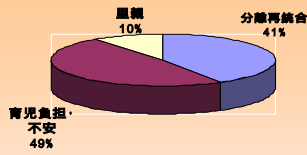
当面家庭復帰の予定がない親子

(再統合の基盤を整える意味から再統合に含む)

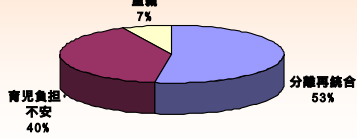
2 育児負担・不安への支援

3 里親支援(新たな親子関係構築)

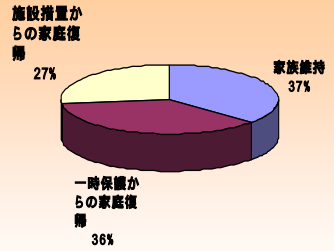
【パターン別親子組数】



【パターン別子どもの数】



【再統合支援の目的】



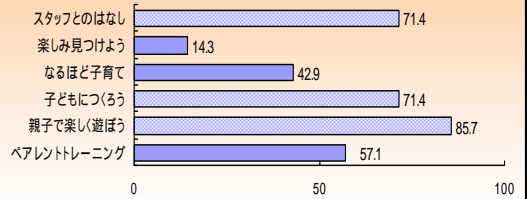
虐待者のタイプ

(虐待の背景にある心理・行動特徴)

育児不安型	育児不安がベースとなり子どもへの暴力が生じたタイプ	育児負担・不安
完全主義的養育型	完全主義的傾向が強く、育児を完璧に行おうとする親が、完璧を阻害する子どもに対して怒りを持ち、攻撃してしまうタイプ	
愛情欠如型	子どもへの嫌悪感、子どもの依存に対する拒否感を、示すことが多いタイプ	
暴力的衝動に対するコントロール不足・欠如型	暴力的な衝動に対するコントロールが、子どもに対してのみならず全般的に不足しており、暴力的な行動化が、家庭内に留まらず、様々な人間関係で認められるタイプ	再統合(家庭復帰)
未熟型	親が心理的・精神的に「親性」を獲得できる準備が整っていないうちに生物的に親になったというタイプ	
精神障害	統合失調症・気分障害など精神障害を有するタイプ	家族維持
知的障害・多子貧困型	知的障害や多子貧困のタイプ	
人格障害	何らかの人格障害が認められるタイプ(特に問題になるのが、境界性人格障害)	

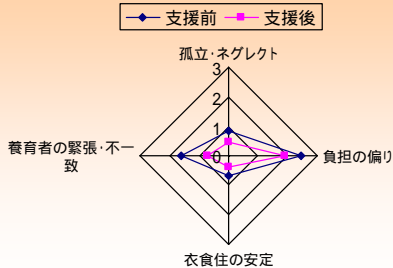
再統合支援(家庭復帰予定)

【プログラム選択率】



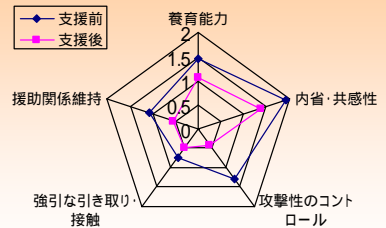
再統合支援(家庭復帰予定)

家庭環境尺度の変化



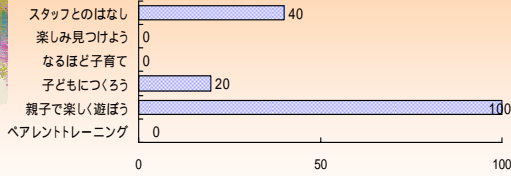
再統合支援(家庭復帰予定)

養育者の状況尺度の変化



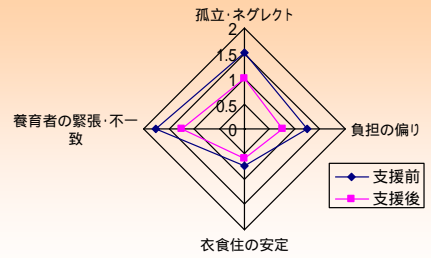
再統合支援(家族維持)

[プログラム選択率]



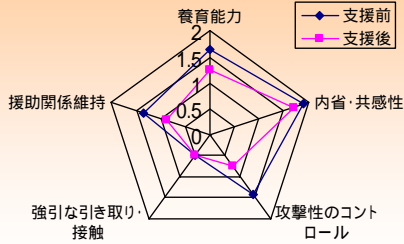
再統合支援(家族維持)

家庭環境尺度の変化



再統合支援(家族維持)

養育者の状況尺度の変化



育児負担・不安

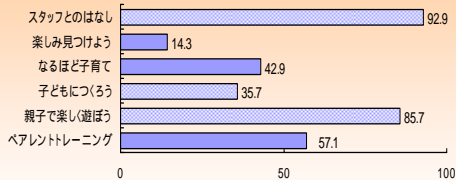
すこやかプラン

母長 すこやか 母子 さま (児: 太郎 ちゃん)
 年齢 平成18年 男 目(初級実習)
 所属機関 H19.7.25 - H19.10.25

困っている	1-2年間の課題はどんな感じか	何ができたらよいかなんか	まずは、できるかなにか何か(すこやかハウス利用なしなど)でいいかなにか(しつこく)	援助機関・機関等	経過
太郎に対して、治療に思っついてしまう。待つ(かわいくない・辛い)	静かに言い聞かせることが出来る	1) 静かに言い聞かせることが出来る	プログラム「ペアレントトレーニング」でしつこく正しい方法を学び、実践してみよう	110番	7月半
	2) ふかやと東たたら一日あることが出来る	治療もって帰ることが出来るよう、プログラム「なるほど子育て」で子どもの心について勉強してみよう	「気持ちの落ち着かせ方」をいっつか見つけ、実践してみよう	110番・12番	8月半
			うまく言い聞かせられたことを褒めたり、つぶやいて、こが褒めてあげよう		
			プログラム「他とこの家のルールを話し合おう」で自分の気持ちや気持ちを伝えよう	110番・12番	利用3回、以後実習回
			プログラム「お話を聞かせるまでは、一緒にあったお母さんと子どもで必ず必ず聞いて話してみよう。	110番・12番	利用3回、以後実習回

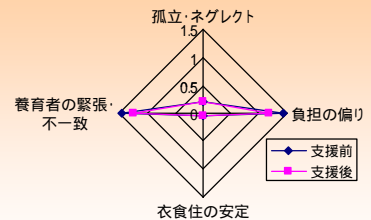
育児負担・不安

[プログラム選択率]

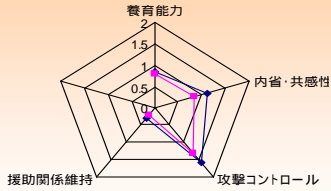


育児負担・不安

家庭環境尺度の変化

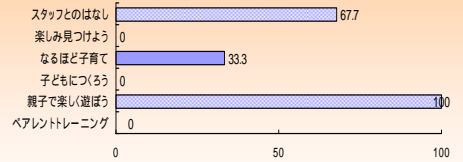


育児負担・不安 養育者の状況尺度の変化

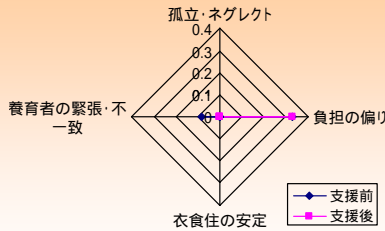


里親

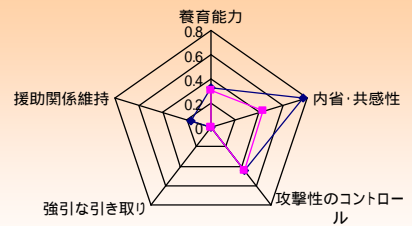
[プログラム選択率]



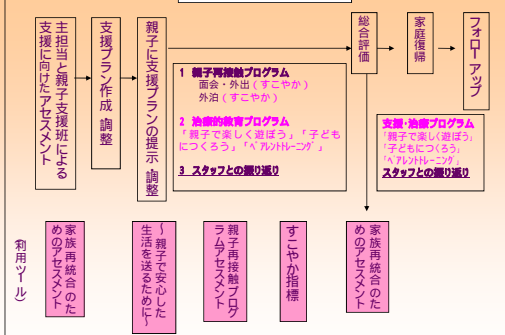
里親 家庭環境尺度の変化



里親 養育者の状況尺度の変化



親子支援プログラム



基本姿勢

- 1 受容的関わり
- 2 「お母さん」の前に「名前」を持った個人
- 3 強み(ストレングス)の発見
- 4 課題の明確化と目標の共有
- 5 親が主体
- 6 具体的な支援
- 7 行動変容への賞賛

行動・認知
の変容

「自信・ゆとり」
の獲得

一人の個人として尊重

「安心・安全」の保障